

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、変更) 届出書

令和3年4月1日

神戸市長 あて

記入例

届出者 住所

神戸市中央区加納町〇丁目〇番地〇号

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

有限会社 神戸金属加工

代表取締役 神戸 太郎

担当者 所属

氏名 神戸花子

電話番号 (078) 322-5678 郵便番号 650-1234

届出をしている法人の担当者名を記載

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条) の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	神戸金属加工	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	神戸市中央区加納町〇丁目〇番地〇号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1（第3条関係）（裏面）

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△ 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系等別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙

(工場又は事業場の概要)

日本標準産業分類に基づく業種	電気めっき業
主な製品又は加工の種類	金属製品の表面処理、めっき加工
資本の額又は出資の総額	〇〇〇万円
常時使用する従業員の数	2人
用途地域	準工業地域
排出先・排水量	公共下水道： <input checked="" type="checkbox"/> 全量・一部（ 排水量：(通常) 3m ³ /日, (最大) 4m ³ /日
	その他：（ 排水量：(通常) m ³ /日, (最大) m ³ /日
	放流時間：常時, <input checked="" type="checkbox"/> 定時⇒ 8:00 ~ 18:00
有害物質使用・保管状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無) 物質名・使用/保管量：フッ化水素酸 1m ³ 、シアン化合物 廃液1.2m ³ 別紙のとおり
指定物質使用・保管状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無) 物質名・使用/保管量：水酸化ナトリウム 廃液 1.2m ³ 上記シアン化合物廃液に同じ
その他汚濁物質等の使用・保管	重油 1m ³
その他参考となる事項	(月間稼働日数：27日, 定休日：日)
夜間・休日緊急連絡先	部署名 〇〇〇 TEL 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(届出の概要)

届出の概要及び理由 電気めっきの原料、廃液を保管するタンク各1基の使用届	
汚染状態：減・ <input checked="" type="checkbox"/> 変わらず・増 排出水量：減・ <input checked="" type="checkbox"/> 変わらず・増	理由：事業場からの排水は全量下水道に流しており、公共用水域への排出は無い。
施設入替の場合は、廃止予定施設の名称・届出年月日等、廃止予定年月日（別途廃止届が必要）	

添付書類 (変更の場合は変更部分)

第1項(特定施設：右記を除く)			第3項(有害物質使用特定施設/下水接続・有害物質貯蔵指定施設)		
別紙1	特定施設の構造	有・無	別紙12	施設の構造	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
別紙2	特定施設の使用の方法	有・無	別紙13	施設の設備	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
別紙1の2	特定施設の設備(有害物質)	有・無	別紙14	施設の使用の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
別紙3	汚水等の処理の方法	有・無	別紙15	施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
別紙4	排出水の汚染状態の量	有・無			
別紙5	排出水の排水系統別の汚染状態の量	有・無			
別紙6	用水及び排水の系統	有・無			

<添付図面内訳>

<input checked="" type="checkbox"/> 別図1	工場付近見取図(主要河川等への放流経路を含む)	別図7	工場排水経路図(排水口の位置図を含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 別図2	工場内の配置図(特定施設等、主要機械、主要装置、汚水処理施設等の配置図)	別図8	汚水処理施設の構造図
<input checked="" type="checkbox"/> 別図3	特定施設等の構造図	別図9	汚水等の処理系統図(フローシート)
<input checked="" type="checkbox"/> 別図4	有害物質使用特定施設等の周囲の構造図	別図10	届出施設の一覧表
<input checked="" type="checkbox"/> 別図5	有害物質使用特定施設等の設備の構造図	<input checked="" type="checkbox"/> 別図11	有害物質取扱い状況
<input checked="" type="checkbox"/> 別図6	特定施設等を含む操業系統図(フローシート)	<input checked="" type="checkbox"/> 別図12	点検等実施方法

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	1号原料タンク	2号廃液タンク
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
型式	貯蔵タンク (〇〇社製 △△)	貯蔵タンク (〇〇社製 □□)
構造	ポリエチレン製 (構造図は別図3のとおり)	ポリエチレン製 (構造図は別図3のとおり)
主要寸法	1000mm×1000mm×1200mm×1基	1000mm×1000mm×1500mm×1基
能力	貯蔵量 1000L	貯蔵量 1200L
配置	工場の屋外に設置 別図2のとおり	工場の地下1Fに設置 別図2のとおり
床面及び周囲	床面は厚さ100mmのコンクリートで、 PP樹脂で被覆 周囲には防液堤を設け、流出を防止 (貯留量1.2m ³) (別図4のとおり)	床面は厚さ100mmのコンクリート PP樹脂で被覆 周囲には側溝を設け、流出を防止 (別図4のとおり)
設置年月日	平成17年 5月 20日	平成15年 4月 1日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

地下に設置されている場合には、その旨記載する

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	1号原料タンク	2号廃液タンク
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設備	地上配管、バルブ、フランジ	なし
構造	PVDF製	
主要寸法	地上配管 直径100mm×10m バルブ 2箇所 フランジ 3箇所	
配置	屋外から工場1階洗浄施設まで (別図5のとおり)	
設置年月日	平成17年 5月 20日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

地下配管(トレンチ)、地下配管(埋設)など。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること
「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1号原料タンク	2号廃液タンク
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設
設置場所	屋外から工場1階洗浄施設まで (別図5のとおり)	工場地下1F (別図5のとおり)
操業の系統	別図6のとおり	別図6のとおり
使用時間間隔	1日に1回	1日に1回
1日当たりの使用時間	10分/回	10分/回
使用の季節的変動	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)		
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	フッ化水素酸55%	シアンを含む廃液(含有率2%)
その他参考となるべき事項		廃液は産業廃棄物処理業者〇〇(〇市〇町)へ引き渡す

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p>フッ化水素酸 〇kg樹脂性容器入りを購入（月1回） ↓ 貯蔵タンクへ移し替え ↓ 貯 蔵 ↓ 配管を通り、特定施設である洗浄施設に供給（1日100L）</p> <p>シアン含有廃液 ↓ めっき施設から配管を通り、タンクへ移す（1日200L） ↓ 保 管 ↓ 産業廃棄物処理業者が用意したタンクに、ドレーンからホースにて搬出（週1回）</p> <p>※必要に応じ搬入及び搬出の系統がわかる図面を添付する</p>		
<p>用 途 別 用 水 使 用 量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量 (m³/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

○添付書類の作成方法

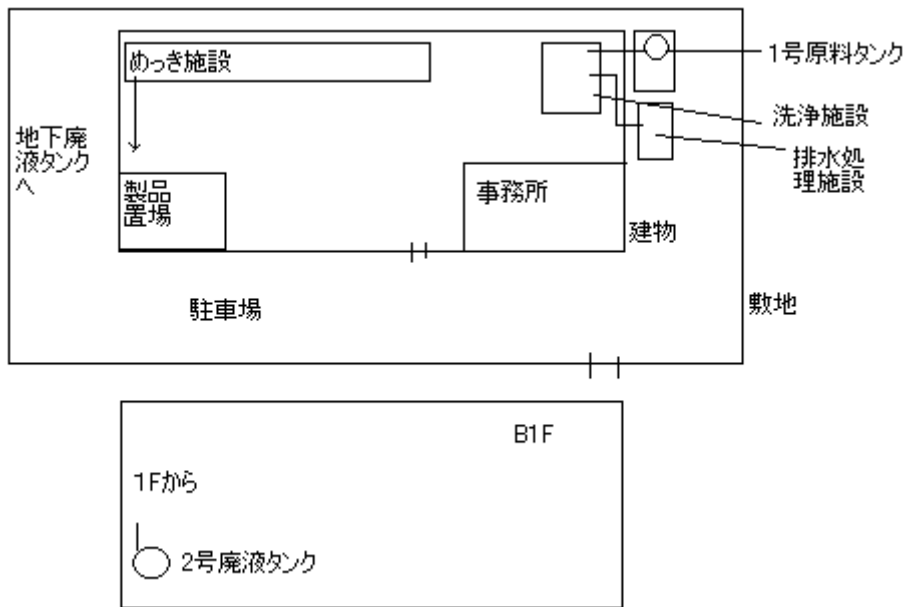
別図1 工場付近見取図

工場付近の地図を添付してください。

別図2 工場内の配置図

特定施設、貯蔵指定施設、その付帯設備（配管、排水溝等）、排水処理施設その他主要機械等の配置を、敷地・建物各階平面図に明示してください。

(例)



別図3 特定施設等の構造図

特定施設、貯蔵指定施設の立面図、平面図、材質、仕様書など図面等が無い場合は側面・上下の写真（寸法を明示する）

別図4 有害物質使用特定施設等の周囲の構造図

施設の床面、腰壁など周囲の立面図、平面図、材質など図面等が無い場合は施設周囲の写真（寸法を明示する）

別図5 有害物質使用特定施設等の設備の構造図

施設に付帯する配管、継ぎ手、フランジ類、バルブ類、ポンプ設備、排水溝等の立面図、平面図、材質など図面等が無い場合は施設周囲の写真（寸法を明示する）

別図6 特定施設等を含む操業系統図

特定施設、貯蔵指定施設を含む操業の系統を明示する（フローシート）

- (例) ・ 金属機械部品 → 酸洗浄（フッ化水素酸を使用）※→水洗浄→乾燥
フッ化水素酸貯蔵タンク
（酸洗浄施設とその排水処理設備は別途水質汚濁防止法で届出済）
- ・ 金属製品→電気めっき（亜鉛めっき）→出荷
└→廃液→保管→業者委託
（電気めっき施設は別途水質汚濁防止法で届出済）

別図 11 有害物質取扱い状況 (記入例)

工場・事業場へ搬入する 有害物質の状況	名 称 (商品名)	フッ化水素酸
	有害物質の 濃度	固体・ <input checked="" type="checkbox"/> 液体 55 %
	荷 姿	合成樹脂性タンク入り
搬入・保管方法	保管タンク等への移し替え作業 <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 移し替え方法：ロートを使用。吸着マットを準備しておく。	
使用目的・使用場所	金属機械部品の洗浄。 工場 1F 洗浄施設	
使用方法	機械等へ注入する作業： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 希釈：有 () 倍)・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 方法：配管を通じて注入 使用量：1回100L	
使用後の有害物質の 濃度	<input checked="" type="checkbox"/> 変化なし・その他 (製品へ移行するなど)：	
廃液の保管	<input checked="" type="checkbox"/> 無・有 ()	
廃液の処理方法	業者委託・ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (工場内排水処理施設で処理)	
濃度測定場所・頻度・方 法 (排水を排出する場 合は必要)	排水処理施設の排水を月1回測定 (計量証明事業者にて採水を含めて委託)	
備 考		

別図 12 点検等実施方法

※ 下記の表はC基準を基に例を作成しています。施設によっては該当しないものもありますので、ご注意ください。
 使用の方法に係る点検（管理要領）は、6月1日現在既存の施設は3年間免除されます。
 また、作成した表を元に、各事業場において点検日・点検者名などを記入する点検記録簿を作成してください。

No.	点検箇所	内容	方法	頻度
1	施設 No.1 の床面	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	1月に1回
2	施設 No.1 本体	ひび割れ、亀裂、損傷その他の異常の有無	目視	1年に1回
3	配管 1 FA～B 部分 (バルブ等含む)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
4	配管 1 FB～C 部分 (同上)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
5	配管 B1FC～D 部分 (同上)	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
6	ポンプ	亀裂、損傷その他の以上の有無	目視	6ヶ月に1回
7	排水溝 A (目視可能部分)	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	目視	1ヶ月に1回
8	排水溝 B (目視不可能部分)	ひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	堰を設けて 流量を測定	1ヶ月に1回
9	排水溝 A・B	内部の水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の地下への浸透の有無	水位を測定	1年に1回
10	施設 No.2 (地下貯蔵タンク)	地下貯蔵施設の内部の気体の圧力若しくは水の水位の変動の確認による有害物質を含む水の漏えい等の有無	タンク内の 気圧を測定	1年に1回
11	使用の方法 受け入れ	飛散、流出、地下浸透など、管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
12	使用の方法 設備の作動状況	管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
13	使用の方法 廃液の移し替え	飛散、流出、地下浸透など、管理要領からの逸脱	管理要領	作業時※
14	使用の方法 事故時	漏洩、流出した場合の措置	管理要領	事故時に記録

※各施設の状況に応じて点検方法・回数を管理要領で定めること。

(点検記録簿)

点検対象特定施設 (有害物質貯蔵指定) 施設名		1号原料タンク			
点検年月日	平成 24 年 6 月 24 日	点検実施責任者		神戸太郎	
No.	点検箇所	方法	結果	措置等内容	点検者
1	施設の床面	目視	亀裂あり	6月24日にコーキング剤で補修済	神戸花子
2	施設本体	目視	異常なし	—	神戸花子
3	配管 1 FA～ B 部分	目視	異常なし	—	神戸花子
	(以下略)				

